

2026年1月吉日

第11回 近畿本部協賛団体特別セミナーのご案内
テーマ 「技術開発における昨今の知的財産権事情」

公益社団法人日本技術士会近畿本部
協賛団体強化委員会

技術革新が加速する現代において、企業および技術者が競争力を維持・向上させるためには、優れた技術を開発するだけでなく、その技術をいかに知的財産権として適切に保護し、戦略的に活用するかが不可欠です。また昨今のAIの進化は、発明の創出支援と出願業務の効率化という2つの側面で活用が進んでいる一方、現行の法律が想定していない事態が発生しています。

今回、講師として、知的財産権分野でご活躍の弁理士・技術士・弁護士の3名を迎え、技術者から経営層まで、企業の将来を担うすべての方を対象に、知的財産権の基本から創出・出願あるいはその利用に至る各段階で考慮すべき点などについて事例をもとに学び、今後の協賛団体様および会員各位の業務や日常に新たな視点を与える、アイデアを守り、活かすための第一歩となることを願ってセミナーを企画いたしました。多くの皆様の参加をお待ちしております。

■開催日時：2026年2月5日（木）13:30～17:00（交流会17:30～19:00）

■会場：大阪科学技術センター小ホール（大阪市西区鞠本町1-8-4）（WEBオンライン開催併用）

■主催：公益社団法人日本技術士会近畿本部 協賛団体強化委員会

■プログラム ※CPD2.7時間

13:30～13:35 開会挨拶：近畿本部長 田岡 直規

13:35～14:25 講演1 『昨今の知財訴訟の事例～まさかおにぎりで？まさか餅で？！「こんな発明」という先入観は禁物～』

講師：弁理士 西野 卓嗣 氏

14:25～15:15 講演2 『企業内技術者と技術士会とのコラボの試み～特許権への難解な調査とAI活用法の紹介』

講師：技術士 濱崎 彰弘 氏

15:15～16:05 講演3 『AI時代における特許法上の検討課題』

講師：弁護士 甲斐 一真 氏

16:05～16:15 休憩（10分）

16:15～16:55 パネルディスカッション（40分）

パネラー：講師の方々、協賛団体会員1名 進行：荒井 一彦

16:55～17:00 閉会挨拶：協賛団体強化委員会委員長 荒井 一彦

17:30～19:00 交流会 大阪科学技術センター7F レストラン（参加費5,000円）

■対象、参加費、申込方法

(1)対象：協賛団体会員様、技術士および一般参加者（非会員・一般参加は会場参加のみとなります）

(2)参加費：協賛団体会員様 無料、日本技術士会会員 1,000円、非会員・一般 2,000円

(3)定員：会場40名、WEB100名 ※先着順

(4)申込先：協賛団体会員様（セミナー・交流会申込）：<https://forms.gle/hTWMF5u24NVgzjMK7>

非会員・一般（セミナー・交流会申込）：<https://forms.gle/MH2vKJjPcqEB275f7>

日本技術士会会員（セミナー申し込み）「技術士CPD行事申込一覧（新システム）」

<https://www.engineer.or.jp/kaiin/password/cpdevent/cpdeventlist.php>

（交流会申込）<https://forms.gle/xaXzQQuggadkCroL9>

(5)申込期限：2026年（令和8年）1月29日（木）

(6)問合せ先：公益社団法人日本技術士会近畿本部事務局

TEL：06-6444-3722 E-mail：pe@ipej-knk.jp